

2021年10月26日
シブサワ・アンド・カンパニー株式会社 代表取締役
渋谷 健

第一回「新しい資本主義実現会議」コメント

- ・人口動態の激変により、日本は時代の節目に立っている
 - 昭和 Made In Japan ピラミッド型 主に先進国の大量消費向け
 - 平成 Made By Japan ひょうたん型 バッシング→パッシング
 - ➡令和 Made With Japan 逆ピラミッド型 人口が多い新興国とも協働

- ・日本の資本主義の原点には変革（X-トランスフォーメーション）があった
 - 『合本主義』 一滴一滴の滴が大河になる 民間力集合による変革
 - 『論語と算盤』 日本社会の状態への憂い。 民間力再編による変革
 - 「富の分配平均などとは思ひも寄らぬ空想」
 - 三つの禁句：「前例がない」「組織に通らない」「誰が責任取るんだ」

- ・「成長」から「分配」、「分配」が更なる「成長」へつながる好循環

財政に依存するフローだけでなく、持続可能なストック（本「もと」）づくり
新しい時代の価値創造・好循環に不可欠なストックは「人」。←現役・若者
成長の定義を「量」から「質」へ。 →『生活質倍増』『企業価値の再定義』

- ・新しい資本主義が実現すべき具体例(案)
 - ➡投資は「富裕層」の特権ではない。
 - GPIF 全国民の年金積立金の運用には「成長」が必要
 - 一般個人の長期的積み立て投資：若者・若年層「つみたてNISA」の恒久化
 - ➡成長と分配の好循環は、国内視線だけではなく、世界規模へ。（搾取から協働）
 - ・グローバルヘルス 官民連携の成長戦略として ODA の配分を倍増。
 - ・途上国／新興国向けのインパクト投資を官民連携で実現。
経済同友会では「アフリカ投資機構」の構想を提言
 - ➡社会的・環境的インパクトを企業会計に計上する「インパクト会計」の検討
 - ・日本企業の「見えない価値」の可視化 → 資本市場からの再評価の期待
 - ➡日銀の株式ETF 買いのロングテールリスクの是正
 - ・通貨安定の番人のバランスシートから償還がないリスク資産を外すべき
 - ・現物化して新たなに設置する基金に移管
 - ・配当収入（年5000億円規模になるか）成長すれば、分配が増えるストック
 - ・大学ファンドなどの財源に当てる。
 - ・財政と異なり、国民が新たなリスクを背負うことない。